



2016. 4. 28.

## 5月 ようちえんだより

西神戸YMCA幼稚園

新しい年度も2ヶ月目に入ります。新入園児の子どもにとっては、幼稚園にはお父さんもお母さんもない不安な場所であるのかも知れませんが、また別の子どもにとっては、あれこれとうるさく言われぬ魅力に満ちた場所であるかも知れません。進級児にとっては、新入園児は今までの幼稚園の暗黙のルールを無視した身勝手な存在に映っているかも知れません。そして進級児も新しいクラスとなって新入園児と同様、様々な気持ちを味わっていることでしょう。いずれにしても、一人ひとりの子どもたちが、今までには経験したことのない新しい環境の中において、たくましく成長するための力を養っているのは確かです。

九州の熊本では震度7を記録する大きな地震が2度に渡り発生しました。その後、大分県にも広がり震度1以上の余震が1,000回近く頻発しているようです。神戸に住む私たちには、21年前に神戸で発生した阪神淡路大震災に匹敵する地震が2度も起こり、加えて観測上類のない回数余震が頻発している状況を思っただけで、被災された方々の不安は計り知れないと容易に想像できます。避難所に避難をしている方々は今でも10万人近くおり、中には避難所の環境になじめず車で寝泊まりして、エコノミークラス症候群で亡くなる方も出てきています。

全国のYMCAでは震災直後からスタッフが現地に入り様々な情報収集をおこなうとともに熊本YMCAと協力し避難所の運営、物資支援などの緊急支援活動を行っています。神戸YMCAも同様にスタッフを派遣し、情報収集活動と支援活動を行うための募金サイトを立ち上げました。

私たちにできることは限られているかもしれませんが、今、何ができるかを考え、被災地に思いを寄せ、できることを行う。これも支援の一つであることは間違いありません。時が経過するにつれ求められるものは変化し救援から支援へと長期化の様相は否めません。どうか全国のYMCAおよび神戸YMCAが行う熊本地震支援活動に募金のご協力を頂きますようお願いいたします。

今年度のキリスト教保育連盟が定める年主題は『平和をともに』です。今回のこの地震は大きな意味で平和を脅かす出来事だと考えます。子どもたちは今から楽しい幼稚園生活を過ごすために自ら動き出し、自分にとっての喜びを自分自身で見つけ広げていくときです、その中であって大きな自然災害の渦中にある人たちのことも覚え、平和について考えることも子どもたちにとっては大事なことではないでしょうか。

子どもたちが『平和をともに』＝『主とともに』＝『被災された方たちとともに』と考え、キリスト教保育における平和が作りだせるように育っていくことを願っています。

年主題 『平和をともに』

<年主題聖句> 「キリストはわたしたちの平和であります。」

(エフェソの信徒への手紙2章14節)

5月主題 「感じる」

聖句 “初めに、神は天地を創造された”

(詩篇1章1節)